

資料 1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)令和2年2月27日
北陸濃越運輸局

評価対象事業名:地域内フューダ―系鉄道確保維持費用補助金

協議会名	①補助対象 事業名等	②事業 概要	協議会における事業評価結果					地方運輸局等における二次評価結果 評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業 評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の 改善点		
長野市公共 交通活性化・再生協 議会	長野市	中条線 中条支所～ 中条地区～ 中条支所	運行方法を早直し、週5日運行 から週8日運行へ変更したことこ よる効果等について、事業者とに アリアゲを実施した。また、地区 には利用状況を説明し、利用促 進の依頼をした。	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 令和2年度まで2,800人以上確保する目標に対し、令 和元年度実績は2,282人であった。	地区人口の減少等により、利用 者の減少に懸念が抱かれ、利用 者が増えていく。利用状況を分析 し、必要に応じて見直しを検討す る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までにつ いては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて 具体的な改善策について引き続き検討し、その実施 について地域一体となって適切に進めていくと ともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の さらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待 する。	
長野市公共 交通活性化・再生協 議会	アムピコタク シ―線	篠ノ井共和 線 川中島駅～ アコーダ、篠ノ 井店～篠ノ 井病院前	支所、地区役員等に毎月利用状 況等説明し、地域に利用促進の ための運行とすることを、事業 者と協議した。	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 令和2年度まで1,400人以上確保する目標に対し、令 和元年度実績は1,943人であった。	利用者が減少し続けているが、 今年度は若干増加した。今後も 維持できるように、利用状況を注 視しながら、引き続き地域や事 業者と連携を図っていく。	協議会における事業評価結果の③から⑥までにつ いては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の 実施について地域一体となって適切に進めていくと ともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の さらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待 する。	
長野市公共 交通活性化・再生協 議会	アムピコタク シ―線	安茂里線 安茂里駅～ 安茂里支所 ～バスターミ ナル	支所、地区役員等に毎月利用状 況等説明し、地域に利用促進の ための運行とすることを、事業 者と協議した。	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 令和2年度まで3,200人以上確保する目標に対し、令 和元年度実績は3,748人であった。	利用者が減少し続けているが、 今年度は若干増加した。今後も 維持できるように、利用状況を注 視しながら、引き続き地域や事 業者と連携を図っていく。	協議会における事業評価結果の③から⑥までにつ いては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の 実施について地域一体となって適切に進めていくと ともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の さらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待 する。	